

2026年8月20日

**大阪国際がんセンターにおける「患者啓発プログラム」にて  
「Yakult（ヤクルト）1000」を提供  
～給食を活用した新たな健康啓発の取り組みへの協力～**

株式会社ヤクルト本社（社長 成田 裕）は、地方独立行政法人大阪府立病院機構 大阪国際がんセンター（所在地：大阪市中心区、総長 松浦成昭、以下「大阪国際がんセンター」）が2026年8月9日に実施した「患者啓発プログラム」において、朝食の一部として「Yakult（ヤクルト）1000」を入院患者さまへ提供しましたのでお知らせします。



朝食の一部として「Yakult1000」を提供



大阪国際がんセンター（外観）

大阪国際がんセンターでは、がん治療を受ける患者さまが安心して療養生活を送れる環境づくりを推進しています。本プログラムは、同センターにおいて入院中の給食という場を活用し、日常生活に取り入れやすい形で健康啓発を行う新たなアプローチとして位置づけられています。当社は、本取り組みに賛同し、腸内環境や腸の健康に関する啓発情報の提供を通じて協力しました。

当日は、通常の給食の中に啓発要素を組み込み、朝食の飲料として「Yakult1000」が配膳されました。配膳時には、啓発趣旨のまとめとより詳しい情報へアクセスできる二次元コードを掲載した印刷物を添付し、患者さまがご自身のペースで健康情報に触れられる環境を整えました。

当社は今後も、医療機関や自治体などとの連携を通じて、人々の健康で楽しい生活づくりに貢献してまいります。

以上